中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人
中小企業基盤整備機構
中小機構ウェブサイト　http://www.smrj.go.jp
中小企業ビジネス支援サイト J-Net21　http://j-net21.smrj.go.jp

中小企業振興
平成炮年灑月炒日(火曜日)　〈毎月1、15日発行〉　第1014号

発行：中小企業基盤整備機構　〒105-8453　東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
TEL03(3433)8811(代)　編集直通03(5470)1515

INDEX
地域力連携拠点全国フォーラムを東京で開催（２面）
川上・川下ネットワーク事業で実施機関[illegible]社が中間報告（２面）
研究成果発表など中部ものづくりシンポジウム開催（３面）
９社がプレゼン、ベンチャープラザ近畿[illegible]（４面）

元気発信！とやまのイノベーション

一日中小企業庁inとやま

フォーラムに700人参加

欹一日中小企業庁櫛とやま飲が瀲月烙日欹富山市大手町の富山国際会議場で欹元気発信！とやまのイノベ欄シ欖ン飲をテ欄マに欹富山県欹経済産業省・中小企業庁欹中部経済産業局の主催により開催された‖写真盗景気にやや持ち直しが見えるものの欹欹二番底への懸念飲も出始めるなど中小企業をめぐる厳しい景気状況が依然として続いている時だけに欹主催者として挨拶した長谷川榮一・中小企業庁長官は欹中小企業がとにかく元気になれるよう全力をあげて応援していきたい盗年末対策を含め欹国としてのさまざまな支援事業を活用してほしい飲と欹中小企業経営者など会場を埋めつくした約700人の参加者に呼びかけた盗また欹中小企業盤整備機構歃中小機構歐北陸支部主催による欹農商工連携フ櫻欄ラム飲のほか欹欹モノづくり推進会議飲や欹交流会飲も同時開催され欹これらイベントで延べ1400人が参加した盗

一日中小企業庁 in とやま
開会挨拶
農商工連携フォーラム in とやま

中核イベントとなる中小企業フ櫻欄ラムでは欹主催者である植出耕一・富山県副知事が欹一日中小企業庁が富山県で開かれるのは煌年ぶり2回目盗この間欹日本海側における産業欹ものづくりのポテンシ欟ルは着実に上が檸ている盗県内経済は厳しいものがあるが欹国欹県など中小企業に対する各種の支援策を有効に利用され欹発展されることを望む飲と挨拶した盗

また欹来賓として挨拶した富永豊郷・中小機構理事は欹欹中小機構の全国9支部をはじめ欹地域の各支援機関や金融機関などと連携し欹新連携推進事業や地域資源活用事業欹あるいは農商工連携事業などきめ細かな支援事業を積極的に行檸ている盗富山県では3カ所の産業用地を用意し欹産業発展に寄与してきている盗中小・ベンチ欟欄企業に対する支援策を存分に活用してほしい飲と述べた盗

このあと欹長谷川長官が欹中小・小規模企業支援施策について飲をテ欄マに欹中小・ベンチ欟欄企業に対する国欹自治体や各支援機関欹金融機関などとの連携によるさまざまな支援策について説明した盗長谷川長官は欹機中小企業を守る帰雇用を守る毅仕事を創る気中小企業の魅力を発信する汽くらし欹地域にうるおい畿小規模企業支える\を柱に欹具体的な支援策について触れ欹欹全国420万社の中小・小規模企業にあまねく支援が届くよう努力してまいりたい盗今日を機会にぜひとも検討され欹ご活用されることを期待したい飲などと述べた盗

また欹中小企業をめぐる経済情勢については欹欹中小製造業の生産は昨年瀾月以降欹輸出関連業種を中心に急速に減少欹足元で下げ止まりの動きが見られるものの欹水準自体は依然低い飲と言及した盗その上で欹富山県をはじめ欹各地域の中小企業の景況感は急速に悪化欹反転上昇感には程遠いものがあり欹景気の先行きへの懸念を改めて示した盗

中小・小規模企業への支援施策について説明する長谷川長官

最後に欹経済産業省・中小企業庁による欹元気なモノ作り中小企業300社飲に選定された富山県の2企業による中小企業施策活用事例紹介が行われた盗

能作克治・能作代表取締役は欹真鍮の素材を活かし欹洗練されたデザインの風鈴が高い評価を受け欹ヒ蘖ト商品にな檸ている自社製品を紹介盗平成炸年度に欹高岡銅器飲の鋳造技術を活用した欹高純度の錫によるキ蘖チン用品の製造販売事業が歡地域産業資源活用事業計画歸認定を受け欹さらに平成炳年度にモノ作り300社に選定されたことが大きい飲と述べた盗

また欹宮村正司・トヨ蘖クス代表取締役は欹欹耐圧ホ欄ス分野で国内牆%のシ櫪アを持ち欹NASA歉米航空宇宙局歐が宇宙飛行士の呼吸用ホ欄スに採用するなど欹世界的にも高レベルのコア技術と品質を有している飲とアピ欄ル盗平成炬年度にモノ作り300社に選定され欹欹今後はコア技術を活かした幅射空調システムなど欹環境製品で世界に挑戦したい飲と期待を込めた盗

なお欹中小企業団体との意見交換会では欹犬島伸一郎・富山県商工会議所連合会会長が欹景気の二番底への不安を感じている飲と訴え欹中小企業の受注増に直結する機動的な経済対策を求めることなどを盛り込んだ要望書を欹長谷川長官に手渡した盗

農商工連携フォーラム

葉っぱも地域資源に

横石いろどり社長が講演

欹一日中小企業庁櫛とやま飲の午前のプログラムとして開かれた欹農商工連携フ櫻欄ラム飲は欹基調講演とパネルデ櫟スカ蘖シ欖ンに約300人が参加した‖写真盗最初に大矢芳樹・中小機構北陸支部長が欹創業から上場にいたるまで欹中小機構では中小企業者をはじめさまざまな形での支援を行檸ている盗農商工連携事業もそのひとつで欹中小企業者と農林漁業者が連携し欹双方の経営資源を活用した新製品開発や販路開拓欹事業認定のアドバイスなど欹地域振興のための重要な支援策だ盗このフ櫻欄ラムを通じてそのヒントをつかんでほしい飲と主催者挨拶した盗

続いて欹横石知二・いろどり代表取締役社長が欹商いは個が輝き欹点を線にして渦をまく飲と題して基調講演盗同社は欹徳島県上勝町で料理を彩る季節の葉や花などを販売する農業ビジネスを展開している盗葉檸ぱを中心に地域資源を活用した地域活性型農商工連携のモデル的存在だ盗人口約2000人足らず小さな山間の町で欹昭和爭年にスタ欄トしたこのビジネスは欹今や年商約2億6000万円の規模に育檸ている盗横石氏は欹高齢化率が燎%近い過疎地でもある上勝町の地域資源は緑の自然しかない盗それを活かしたビジネスを始めたが欹最初はゴミみたいな葉檸ぱが商売になるとは誰も考えなか檸た盗それでも4人からスタ欄トして料亭などに徐々に販路を広げてい檸た飲と経緯を説明欹欹今では年収1000万円を稼ぐおばあち櫝んもいる飲と説明した盗その成功の裏には欹パソコンによるビジネスづくりがある飲と指摘欹欹櫝代の高齢者も使える独自開発のパソコンを駆使し欹全国の市場情報を収集して自らマ欄ケテ櫟ングを行い欹葉檸ぱを出荷している飲と語檸た盗

引き続き行われたパネルデ櫟スカ蘖シ欖ンは欹みんなでやらんまいけ 農商工連携飲がテ欄マ盗大塚耕太郎・北陸地域活性化支援事務局歃中小機構北陸支部歐農商工連携担当プロジ櫪クトマネ欄ジ欟欄をコ欄デ櫟ネ欄タ欄に欹荒井忠一・シラホフ欄ズ代表取締役社長欹松原克巳・みな穂農業協同組合営農部長欹柴田時和・アグリサポ欄トネ蘖トワ欄ク代表取締役の3氏がパネリストとして意見交換した盗粉砕機メ欄カ欄のシラホフ欄ズは欹富山県特産のシロエビの風味を活かしたパウダ欄調味料を開発欹地域資源活用事業計画の認定を受けた盗みな穂農業協同組合は欹米作からの脱却を図るため桃やブル欄ベリ欄など外農作物を活用した地域限定商品を開発盗アグリサポ欄トネ蘖トワ欄クは欹農作物の育成履歴など生産工程管理をサポ欄トするソフトを開発しており欹それぞれの農商工連携への取り組み欹期待などが話し合われた盗

活かせ！新現役パワー

≪8≫

日宝綜合製本㈱

管理者中心に「5S活動」徹底

研修や全体会合も充実

書籍や雑誌など印刷物の最終段階が製本工程盗どんなに分厚い雑誌でも欹1ペ欄ジ分の原稿が遅れても仕事にはならない盗しかもそれを理由にはできない盗待檸たなしの@最後の砦Aである盗それだけに生産現場も@戦場Aとならざるを得ない状況があ檸た盗

欹製本業の生産現場を異業種の視点から具体的な指摘をしてもらい欹それを改善に結びつけたいと思檸ていたのがき檸かけでした飲と欹日宝綜合製本の岩坪誠次郎・常務取締役歃熾歐は欹新現役の支援にいたる経緯をこう話す盗

平成炬年欹中堅社員研修に関して岡山商工会議所に相談したのが始まりだ檸た盗そこで知檸たのがOB人材マ蘖チング事業欹現在の欹新現役チ欟レンジ支援事業飲だ盗相談を受けた岡山事務局のナビゲ欄タ欄欹金澤隆城さん歃牆歐は欹欹生産現場について坐学ではなく欹実際に役立つ改善提案をしてくれる人材を飲との要請に欹大手自動車部品メ欄カ欄で生産管理に携わ檸てきた経験豊富な下山勝申さん歃爲歐をマ蘖チングした盗欹現場改善したいという強い意欲と要請に共感した飲という下山さんは欹同年8月に1年間の支援契約を結ぶ盗

改善で話し合う岩坪常務、新規役の下山さんとそれを聞くナビゲーターの金澤さん（右から）＝岡山市の日宝綜合製本

最初に取り組んだのが欹各生産現場の管理者を主メンバ欄にした整理・整頓・清掃・清潔・躾歉しつけ歐の欹5S活動飲である盗工場内の備品の配置から作業エリア欹通路など非効率的なレイアウト欹遊休設備の処分など徹底した改善活動を追求した盗

印刷物を積んだパレ蘖トなどの高さを150隠陰に制限して見通しを良くし欹作業台にキ欟スタ欄を取り付けたり欹機械自体の配置も変えたりした盗このことで欹はじめは半信半疑だ檸た社員の姿勢にも変化が見られ欹積極的な改善提案が次々に出されるよう意識も変わり欹工場内が見違えるようにな檸た盗下山さんの5Sに対する考え方は欹手づくりでその人に対応した改善策を提案してくる飲と岩坪常務は言う盗そして下山さんは欹生産管理はいわば心理学盗いくら勉強しても行動に移るとは限らない盗人を動かすのは心理学であり欹それには現場とのコミ欒ニケ欄シ欖ンが大事飲と話す盗

5Sからスタ欄トした支援活動は欹2年目に欹安全飲欹品質飲欹3年目に欹労務比率の減少飲欹そして今年は欹生産管理と改善飲をテ欄マに取り組んできた盗その活動の中で長船工場歃岡山県瀬戸内市歐中心の週1回の研修会と月1回の全社的なデ櫟スカ蘖シ欖ンの場を設けている盗長船工場だけでなく欹福岡工場欹埼玉羽生工場など全国の現場の幹部を集めて行う月1回の全体会合では欹工場での問題点の把握と解決策をきめ細かく検討欹下山さんとメンバ欄とが熱く議論を戦わすことも少なくないという盗

5S活動の取り組みで工場内もすっきり

5S活動にしても欹下山さんの目からすると欹まだ満足できる点数ではない飲と映る盗要は欹取り組んできた改善テ欄マがいかに生産性向上につながり欹会社の業績に反映できるようにするかだ盗下山さんは欹その仕組みを構築したい飲とし欹岩坪常務は欹市場環境が激変している現状の中で欹会社としての今後の指針を欹こうした改革を通してあぶり出していくことも重要だ飲と強調する盗

新現役との契約期間は欹通常欹数カ月から1年といわれる中にあ檸て欹4年間におよぶ支援活動は異例ともいえる盗双方が深い信頼関係にある証左でもある盗日宝綜合製本の欹改善事業飲は欹製本業界のいわば好例といえよう盗

製本の楽園めざして

玄田恭三
代表取締役社長

製本業の大手として、常に品質、技術力の向上に注力しています。製本業は印刷物がすべて納入されてからの仕事です。「丁合」「綴じ」「裁断」などの工程を行う「委託加工業」で、印刷物の納入が遅れても納期は絶対に守らなければならない“後”のない仕事です。だからこそ「品質を守る」「納期を守る」ことをモットーにしています。最近は少子化や電子化で教育関係の雑誌などの印刷物が減少する傾向にありますが、今後も理想の職場づくりへ「世界一の製本の楽園をめざして」のスローガンを掲げて邁進していくつもりです。

《会社概要》▽本社＝岡山市中区今在家[illegible]ノ１▽電話＝[illegible]▽創業＝昭和[illegible]年１月▽資本金＝１億円▽従業員＝正社員[illegible]人（平成[illegible]年７月末現在）▽売上高＝[illegible]万円（同年７月期）▽URL＝http://www.nippoh-bb.co.jp/

『新現役』とは：３面下段の案内欄を参照

新現役エリアフォーラムin関東

全員参加方式で意見交換も

中小機構主催

中小機構主催による欹新現役エリアフ櫻欄ラム櫛関東飲が瀲月焉日欹東京都千代田区の東京国際フ櫻欄ラムで開催された盗中小企業経営者欹新現役欹ナビゲ欄タ欄など約400人が参加した盗欹やる気あふれる中小企業とスキルフルな新現役との融合が日本の未来を創造する飲をキ欟蘖チコピ欄に欹成功事例紹介欹基調講演欹参加者全員による対話歉ワ欄ルドカフ櫪方式歐や意見交換などが行われた盗

はじめに欹主催者を代表して上田弘・中小機構審議役が欹平成炳年度にスタ欄トした新現役チ欟レンジ事業は経営戦略の見直し欹商品開発欹販路開拓などで豊富な経験をもつシニア人材を発掘し欹地域や中小企業などの支援を行うもので欹全国でも数多くの成功事例が報告されている盗新現役の登録者数も1万人を超えており欹今後も中小・ベンチ欟企業とのマ蘖チングを図りたい飲と挨拶した盗

2面に続く

平成21年度 中小企業庁施策の解説書
中小企業施策総覧
中小企業庁　編集
中小企業に関する施策は全てこの中に入っています
財団法人 中小企業総合研究機構

平成21年度　中小企業庁編集
財団法人中小企業総合研究機構発行
中小企業施策総覧
平成21年度における重点施策をはじめとした国の幅広い中小企業施策を掲載。中小企業行政に関わる実務者や中小企業支援機関職員、中小企業の経営革新に携わる中小企業診断士などの方々に対して、国の施策を網羅的に解説しています。
■中小企業の経営・金融・財務などに関する施策の概要 ■中小企業関係の統計資料 ■中小企業関係機関住所録など
政府刊行物サービス・センター
都道府県政府刊行物販売所
全国有名書店　等にて発売中
定価 1,430円（税込）
書籍に関する問い合わせ
(財)中小企業総合研究機構総務部業務部門
http://www.jsbri.or.jp
TEL:03-3222-0301　FAX:03-3222-0600
E-Mail gyoumu@jsbri.or.jp
経済産業省　中小企業庁
〒100-8912
東京都千代田区霞が関一丁目3番1号
TEL:03-3501-1511(代表)
http://www.chusho.meti.go.jp